Mimaki APC-130用

プリンタドライバ

取扱説明書

株式会社ミマキエンジニアリング

D202269-11

もくじ

はじめに

この度は、プリンタドライバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご注意

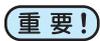
- 本書は、2014 年 1 月現在の仕様に基づき作成しております。
- 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して、作成されたものによって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- 本製品に関してのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、弊社営業所までご連絡ください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

プリンタドライバをお使いになる前に、必ず **Read me** をお読みください

プリンタドライバをお使いになる前に、APC-130 プリンタドライバのインストーラに付属の ReadmeAPCJ.txt をお読みください。
ReadmeAPCJ.txt には、プリンタドライバに関する各種注意事項が記載されています。

Windows XP/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

マーク表示について

設定や操作で注意する事や知っておくと便利なことを、下記のマークを付けて記述しています。

マークの種類	内　容
重 要 !	「重要」マークは、プリンタドライバをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。

対応プロッタ

このプリンタドライバーは、株式会社ミマキエンジニアリング製の下記プロッタに対応しています。

■ **APC-130**

システムとソフトウェア

プリンタドライバーをインストールして使用するには、次の条件が必要です。
本書では Windows8 を例に、インストール / 設定手順を説明しています。

OS	Microsoft Windows XPSP3 (32bit のみ) 、Windows 7 (32bit /64bit)、Windows 8 (32bit /64bit)、Windows 8.1 (32bit /64bit)
CPU	Pentium プロセッサまたは互換プロセッサ搭載の IBM PC または互換機

プロッタ側の設定を確認してください

最初にプロッタの設定を確認してください。

- プロッタの各設定値が下表の設定値と違っていると、図面出力を正常に行うことができません。

設定していただく機能	設定値
RS232C の接続条件	データ長：8bits
原点	左下
ペン No. 割り付けの設定	初期状態から変更しないでください。*1

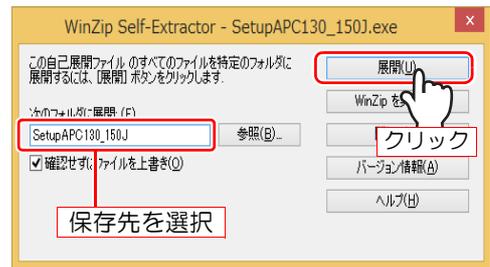
*1. 設定を変更した場合は、取扱説明書 3 章「設定した内容を初期状態に戻す」を行って設定内容を初期状態に戻してください。(ただし、すべての設定内容が初期状態に戻ります。)

プリンタドライバのインストール

1 ミマキエンジニアリングのホームページの **APC-130** 製品情報ページを開き、ダウンロードサイトから **"APC-130** プリンタドライバ **"** をダウンロードする

2 をダブルクリックする

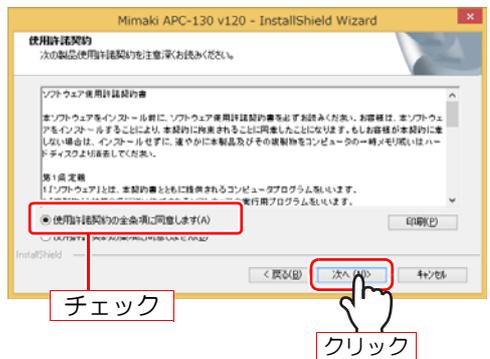
3 インストーラを保存する場所を選択し、展開 をクリックする

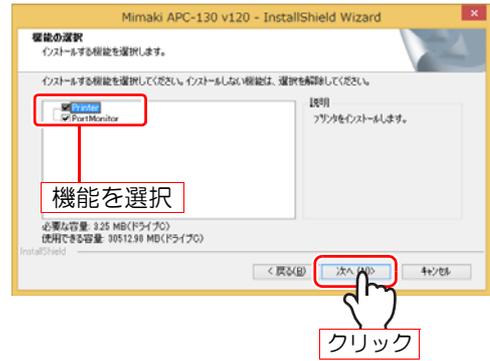
- 選択した保存先に、[SetupAPC130] フォルダが作成されます。

4 手順 **3** で指定したフォルダを開き、 をダブルクリックする

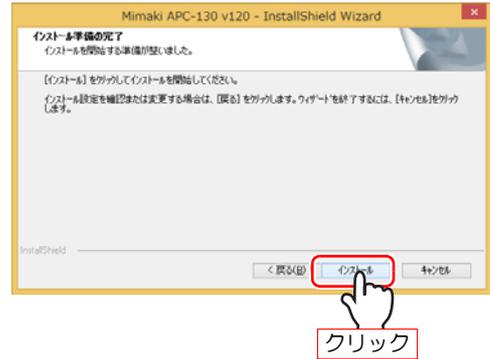
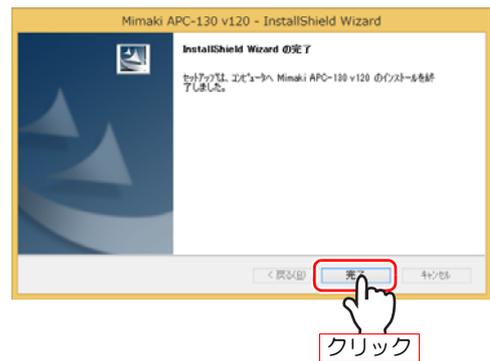
Setup.exe

- インストールウィザードが起動します。

5 次へ をクリックする

6 **[** 使用許諾契約の条項に同意します **]** をチェックし、次へ をクリックする

7 インストールする機能を選択し、次へ をクリックする

- PortMonitor をインストールしない場合は、チェックを外してください。
- PortMonitor のみ選択して、インストールすることはできません。

8 インストール をクリックする

- インストールを始めます。

9 完了 をクリックする

10 インストールが完了すると、“ デバイスとプリンター ” にプリンタが追加される

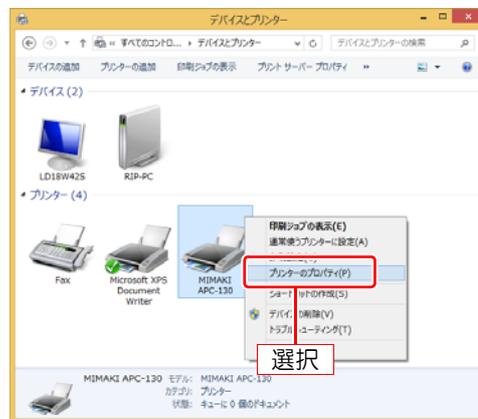
- “ デバイスとプリンター ” は、OS によって名称が異なります。
  Windows XP: プリンタと FAX
  Windos 7/8: デバイスとプリンタ

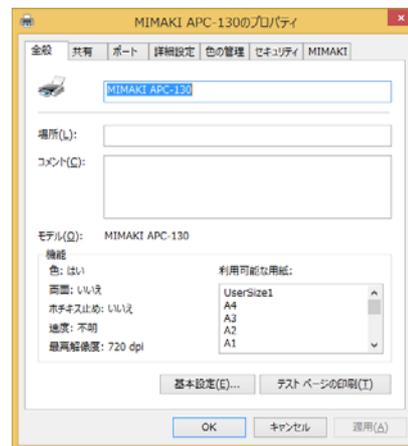
プリンタドライバの設定

使い方に合わせてプリンタドライバの設定をしてください。

1 “デバイスとプリンター” を開き、設定するプロッタを選択する

- “デバイスとプリンター” は、OS によって名称が異なります。
  Windows XP: プリンタと FAX
  Windos 7/8: デバイスとプリンタ

2 マウスの右ボタンをクリックし、“プリンターのプロパティ” を選択する

3 プロパティが表示される

- プロパティでは下表の設定タブがあります。各々のタブをクリックして、設定・確認してください。

設定タブ	概要
全般	プリンタドライバの全般的な情報が表示されます。 基本設定 をクリックすると、印刷に関する各種設定（「用紙設定」「出力設定」「その他の設定」）ができます。(P.9 ～)
共有	プリンタの共有を設定します。
ポート	出力ポートを設定します。(P.14)
詳細設定	ドライバに関する詳細な設定を行います。
色の管理	色の管理をします。(設定の必要はありません。)
セキュリティ	セキュリティに関する設定を行います。
MIMAKI	プリンタドライバのバージョン情報などを表示します。URL をクリックすると、MIMAKI のホームページを表示します。

“ 印刷設定 ” を行う

APC-130 を使用している場合の印刷設定について説明します。

■ 用紙設定

1 P.8 を参照して “ 全般 ” タブを表示させ、基本設定 をクリックする

- 印刷設定の “ 用紙設定 ” タブを表示します。
- 使い方に合わせて、各種設定をしてください。

(1) カットの向き
カットするイメージを、用紙内に縦に配置するか、横に配置するかを設定します。

(2) 用紙の回転角度
用紙を縦に使用するか、横に使用するか設定します。
設定値 ....0,90,180,270 度

(3) ミラー
左右反転してカットします。

(4) 用紙
APC-130 に取り付ける用紙サイズ、またはアプリケーションに認識させる用紙サイズをリストボックスの中から選択します。

(5) カスタム用紙
カスタム用紙を 4 種類設定できます。
長さ ....50 ～ 15000mm
幅 ....50 ～ 1300mm

設定したカスタム用紙は、標準値に戻す をクリックすると最初の値に戻ります。

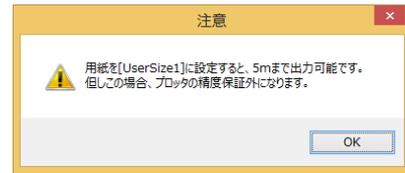
(6) フィットページ
出力用紙にフィットするように、イメージを拡大 / 縮小してカットします。

(7) 出力用紙
“ フィットページ ” をチェックしているとき、用紙の選択が有効になります。

(8) 倍率

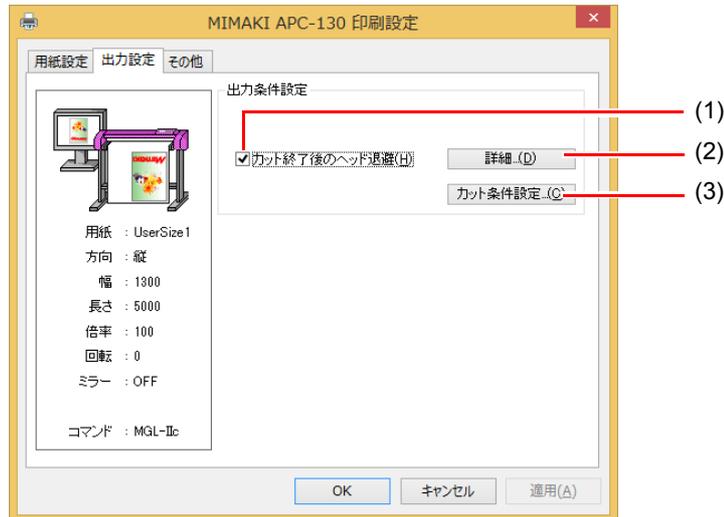
“ フィットページ ” のチェックが外れているとき、倍率を入力できるようになります。
用紙サイズより大きく拡大した場合には、用紙に収まる範囲のみカットします。

(9) 3m 以上の出力

アイコンをクリックするとメッセージを表示します。
用紙を「UserSize1」に設定すると、5m まで出力可能です。
3m 越えて出力する場合、精度保証外になります。

■ 出力設定

1 P.8 を参照して " 全般 " タブを表示させ、基本設定 をクリックする

2 " 出力設定 " タブをクリックする

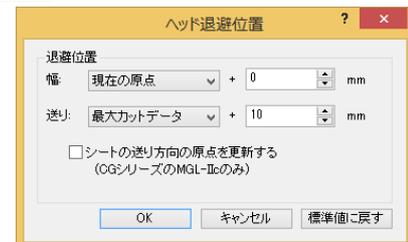
• 使い方に合わせて、各種設定をしてください。

(1) カット終了後のヘッド退避

チェックすると、カット終了後に指定した位置へヘッドを退避します。

(2) 詳細

" カット終了後のヘッド退避 " をチェックしているときに、詳細 ボタンが有効になります。
クリックすると、ヘッド退避位置の設定が表示されます。

幅 ....ヘッドの移動方向に対して、退避位置を設定します。(「現在の原点」または「最大カットデータ」)+(0 ～ 100mm) の範囲で設定してください。

送り ....送り方向に対して、退避位置を設定します。(「現在の原点」または「最大カットデータ」)+(0 ～ 100mm) の範囲で設定してください。

• ここで設定した、送り方向のヘッド退避位置を原点に設定できます。
" シートの送り方向を原点にする " をチェックしてから、OK をクリックしてください。

(3) カット条件設定

コマンドが MGL-Ic1 の場合、この設定は無効になります。

選択すると、ドライバで指定したツールでカットしますが、カット条件（スピード，圧力，オフセット）は、プロッタ側で設定されている条件に従います。

カットする速度 (0 ～ 60cm/s) を設定します。"0" にすると、プロッタ側で設定した速度でカットします。

すべての色をリストの No.1 で設定されているツール条件でカットします。

選択した色に対するプロッタで使用するツール (CUT1 ～ 7、PEN) を設定します。

カットするときのオフセット値 (0 ～ 2.50mm) を設定します。"0" にすると、プロッタ側で設定した値になります。

カットする圧力 (0 ～ 500g) を設定します。"0" にすると、プロッタ側で設定した圧力でカットします。

自動　　　：直前のツール条件でカット
出力しない：カットしない
1 ～ 40　 ：指定したリスト No. でカット

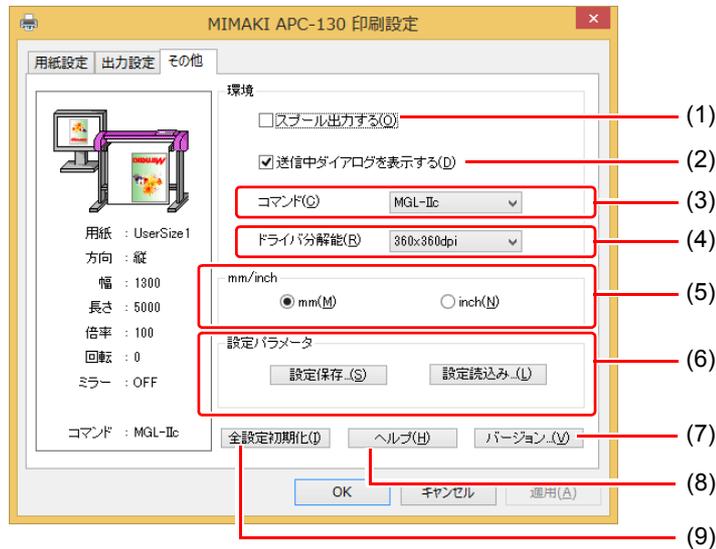
ツール条件を設定したい色がリスト内にない場合に、クリックして必要な色に変更してください。

- 変更した値を元の状態に戻したいときは、標準値に戻す をクリックした後、OK をクリックしてください。
- カットデータを色分けすることで、色ごとにカット条件を変更できます。

■ その他の設定

1 P.8 を参照して " 全般 " タブを表示させ、基本設定をクリックする

2 " その他 " タブをクリックする

• 使い方に合わせて、各種設定をしてください。

(1) スプール出力する

ドライバの処理が遅い場合、出力コマンドをハードディスクにスプール後に高速出力できます。

• スプールフォルダの設定は、以下の手順で行います
Windows XP: [プリンタと FAX]-[ファイル]-[サーバのプロパティ]-[詳細設定]
Windows 7/8: [デバイスとプリンターでいずれかのプリンタアイコンを選択] - [プリントサーバープロパティ] をクリック -[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログ -[詳細設定] タブ

(2) 送信中ダイアログを表示する

ドライバ出力処理の進行状況を表示します。

(3) コマンド

プロッタ本体の「コマンドキリカエ」と同じ設定にします。

(4) ドライバ分解能

ドライバの分解能を設定します。

• カット品質が荒い場合や小さい文字をカットする場合、720x720dpi を選択します。

(5) mm/inch

長さの単位 (mm/inch) を変更します。

(6) 設定パラメータ

設定保存.................... 指定したドライバの設定値を保存します。
設定読み込み.......... 保存してある設定ファイルを読み込み、ドライバの設定値を変更します。

(7) バージョン

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

(8) ヘルプ

ヘルプを表示します。

(9) 全設定初期化

すべての設定値を初期化します。

出力ポートを設定する

■ PC とプロッタを USB インターフェイスケーブルで接続している場合

1 **PC に “Mimaki ドライバ” をインストールする**

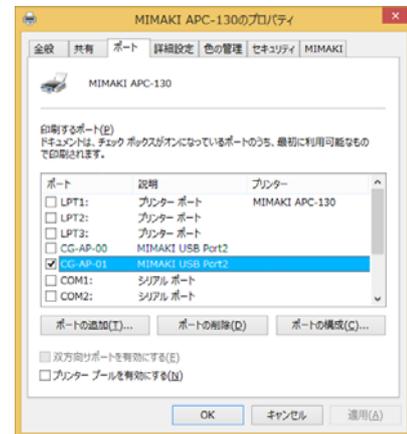
- “Mimaki ドライバ” は、APC-130 付属のマニュアル CD に入っています。
  または、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（http://www.mimaki.co.jp/download）より “ ドライバ / ユーティリティ ” をチェックしてダウンロードしてください。

2 **PC とプロッタを USB インターフェイスケーブルで接続し、電源を入れる**

3 **P.8 を参照して “ ポート ” タブを選択する**

4 **出力ポートを選択する**

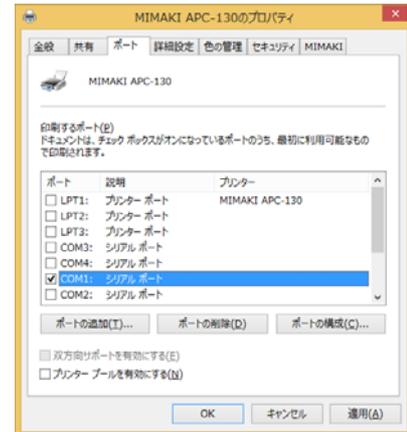
- PC にプロッタを複数台接続する場合には、別々のポートを選択してください。

重 要！
- PC に同一機種を複数台接続する場合には、プロッタの “USB 装置 No. の設定 ” で、それぞれのプロッタに別々の装置 No. を設定してください。同一の装置 No. を設定していると、ポートを表示することができません。

■ PC とプロッタを RS-232C インターフェイスケーブルで接続している場合

1 PC とプロッタを RS-232C インターフェイスケーブルで接続し、電源を入れる

2 P.8 を参照して “ ポート ” タブを選択する

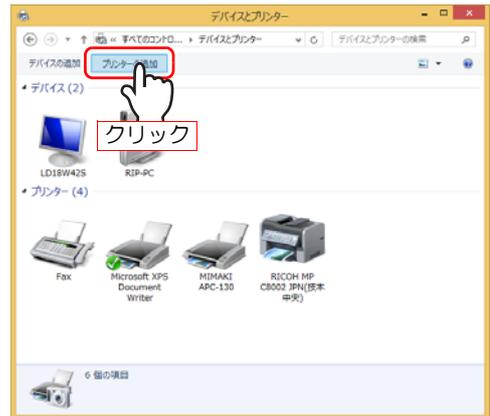
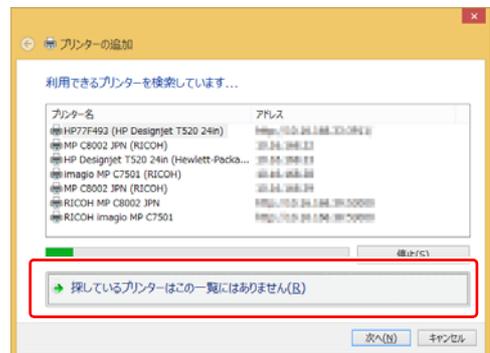
3 出力ポートを選択する

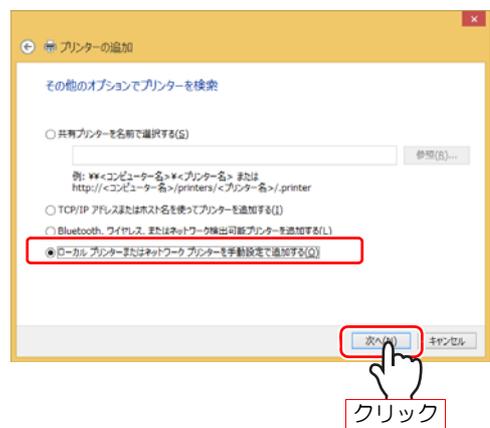
- PC にプロッタを複数台接続する場合には、別々のポートを選択してください。

■ 同一機種で複数台接続を行う場合

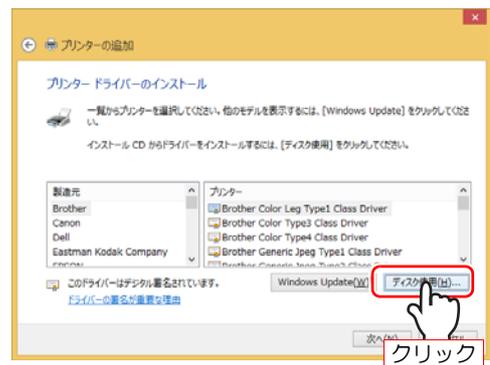
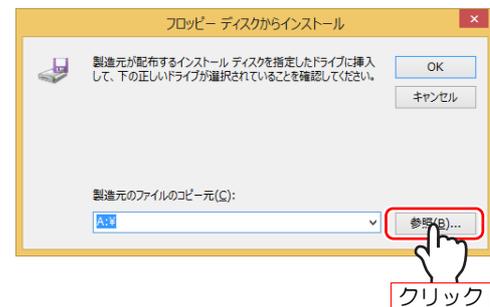
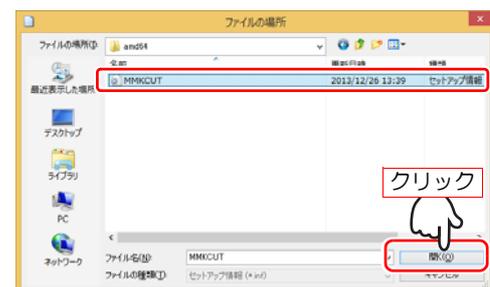
1 コントロールパネルから“デバイスとプリンター”を開く

- “デバイスとプリンター”は、OS によって名称が異なります。
  Windows XP: プリンタと FAX
  Windos 7/8: デバイスとプリンタ

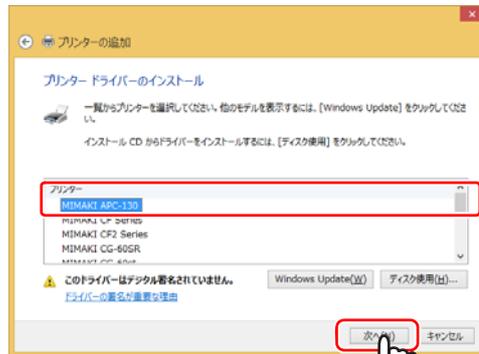
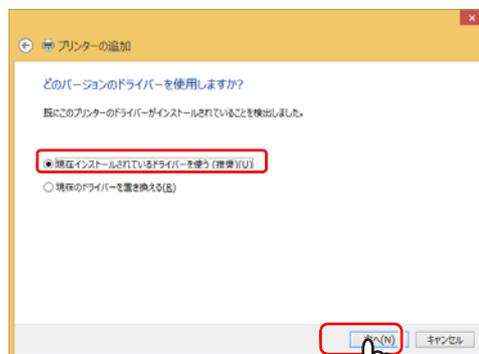
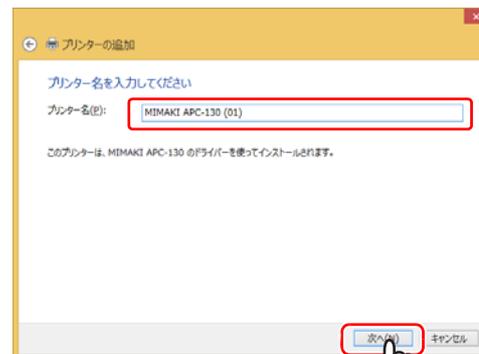
2 “プリンターの追加”をクリックする

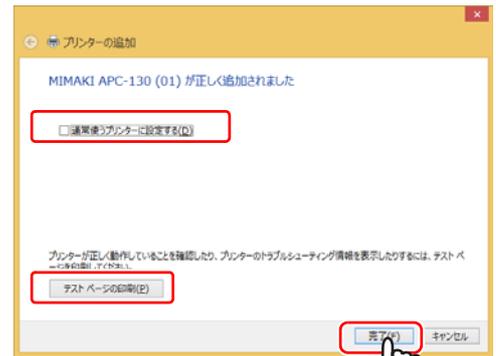
・[プリンタの追加] ウィザードが開きます。

3 “探しているプリンターはこの一覧にはありません”をクリックする (Windows 8/8.1 の場合のみ)

4 “ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する”を選択し、次へ をクリックする (Windows 8/8.1 の場合)

- Windows XP/7 の場合、“ローカルプリンターを追加します”を選択します。

5 プリンタポートを選択し、[次へ]をクリックする

6 [ディスク使用]をクリックする

7 [参照]をクリックする

8 インストール時に展開したフォルダ(P.6)に入っている[MMKCUT.inf]を選択し、[開く]をクリックする

- Windows7/8 をお使いの場合
  32bit 版は「x86」フォルダ中の [MMKCUT.inf] をお使いください。
  64bit 版は「amd64」フォルダ中の [MMKCUT.inf] をお使いください。

9 OK をクリックする

10 インストールするプリンタを選択し、次へ をクリックする

11 “ 現在インストールされているドライバーを使う ” を選択し、次へ をクリックする

12 プリンタ名を入れ、次へ をクリックする

13 “ プリンタの共有 ” を選択し、次へ をクリックする

14 “通常使うプリンタ”と“テストページの印刷 ” を設定し、完了 をクリックする

- “ デバイスとプリンター ” の “ プリンタのプロパティ ” で、追加したプリンタを確認できます。
- “ デバイスとプリンター ” は、OS によって名称が異なります。
  Windows XP: プリンタと FAX
  Windos 7/8: デバイスとプリンタ

索引